

裏面の「地域防災活動展示の緊急公募」も是非ご覧下さい。

第2回 災害に強いコミュニティのための市民フォーラム

～想定宮城県沖地震に対する地域防災力と医療の備え、そして地域間連携の構築に向けて～

参加無料

- 主催：宮城県沖地震対策研究協議会(7つの提案実現化WG)
- 共催：東北大学災害制御研究センター、東北大学病院高度救命救急センター
日本自然災害学会東北支部、自然災害研究協議会東北地区部会、日本建築学会東北支部地方計画部会
- 後援：宮城県医師会、仙台市医師会、日本赤十字社宮城県支部、仙台市婦人防火クラブ連絡協議会、
仙台ライフライン防災情報ネットワーク、東北福祉大学ボランティアセンター、東北福祉大学地域減災センター、
厚生労働省東北厚生局、国土交通省東北地方整備局、宮城県、仙台市(いずれも予定)
- 日時：2007年2月25日(日)9:30(受付開始)～17:00 (展示は17:30まで)
- 場所：せんだいメディアテーク1階オープンスクエア
- 定員：救護の達人コンテストの募集は12チーム(3人1チーム)で申込先着順
市民フォーラムは200名申込先着順



■プログラム

司会進行：菅原 清悦(日本赤十字社宮城県支部)・佐藤 健(東北大学災害制御研究センター)

第1部 救護の達人コンテスト

- 09:30～09:50 コンテスト参加者受付
- 09:50～10:00 コンテスト開会挨拶
登米 祐也(仙台市医師会・災害担当理事)
- 10:00～12:00 コンテスト
- 12:00～13:00 昼休み(コンテスト審査)



救護の達人コンテストは、3人1チームで応急手当の技術や知識を競うゲーム形式の勝ち抜き戦です。傷の手当や骨折の固定など。救命救急の講習などを受けたことのない方でも参加できます。入賞者には豪華賞品も用意しています。

併催企画

- A. 救命救急・応急救護に関する展示(10:00～17:30、救護の達人コンテストスペース)
- B. 地域の防災活動に関する展示(10:00～17:30、地域の防災活動交流スペース)
- C. 地震体験車ぐららによる地震体験(14:00～16:00、メディアテーク搬入ヤード)



第2部 市民フォーラム

- 12:30～13:00 市民フォーラム参加者受付
- 13:00～13:20 救護の達人コンテスト表彰式、講評
小野 清(仙台市消防局警防部救急課・課長)
- 13:20～13:30 市民フォーラム開会挨拶
増田 聡(東北大学大学院経済学研究科・教授)
- 13:30～15:00 招待講演
「市民が主役の防災まちづくり(仮題)」
重川 希志依(富士常葉大学環境防災学部・教授) 重川 希志依先生
「緊急事態対応に関する米国カリフォルニア州取材報告
～市民の防災活動 CERT-LA から学ぶべきもの～」
藤原 健史(阪南市事業部都市整備課・主幹)
- 15:00～15:10 休憩
- 15:10～16:50 特別報告(各報告20分、質疑応答5分)
 - ①7つの提案実現化WGとその活動について(仮題)
篠澤 洋太郎(東北大学大学院医学系研究科・教授)
 - ②清水市におけるコミュニティと医療の連携防災モデル(仮題)
柴山 明寛(東北大学災害制御研究センター・研究員)
 - ③最近の自主防災活動のトピックス(仮題)
菅原 康雄(宮城野区福住町内会・会長)
 - ④夜間防災訓練(応急救護など)について(仮題)
京谷 国雄(太白区鉤取ニュータウン町内会・会長)
- 16:50～17:00 閉会挨拶
篠澤 洋太郎(東北大学大学院医学系研究科・教授)



参加・展示の申込方法

救護の達人コンテストへの参加登録

チーム名、参加者氏名(全員)、代表者連絡先(電話番号)を記入の上、必ず3人1チームで登録して下さい。

市民フォーラムへの参加申込

所属、氏名、連絡先(Eメールアドレス、もしくは電話番号)を記入の上、申し込んで下さい。

地域の防災活動の展示申込

団体名、代表者氏名、代表者連絡先(Eメールアドレス、もしくは電話番号)を記入の上、申し込んで下さい。

展示用パネル(幅1.8m、高さ2.4m)と長机(幅75cm、長さ1.8m)を各1台用意します。展示料金は無料ですが、展示物の作成費用、搬入費用、展示作業等は出展団体の自己負担となりますのでご注意ください。また、展示位置は事務局にご一任願います。

いずれも申込み先は、下記へEメールかFAXでお願いします。

■申込み・問合せ：

宮城県沖地震対策研究協議会市民フォーラム担当事務局(東北大学災害制御研究センター内)：佐々木・柴山・佐藤

Eメール medicalwg@saigai.str.archi.tohoku.ac.jp FAX 022-795-7854